大槻マネ・お疲れ様

叡明高校の優勝で幕を閉じた埼玉県大会、その大会終了と共に、市高3年生マネ・大槻も部活動引退となりました。

私達南部地区の3年生マネージャーは、メイン球場を担当していることから、自チーム敗退後も大宮公園球場の業務を最後まで担当するという形がとられています。特に準決勝・決勝・閉会式は、この地区の3年生マネージャーだけで、放送・記録・報道対応等すべての本部業務を行っています（暑い中ボランティアで・・・本当に素晴らしいです）。

大槻は最後までしっかりとその任務をこなしてくれました。プレーしている選手ばかりに目が行きがちですが、大会を支える側に回っている彼女達のような存在を忘れてはならない・・・私はそう思います。

閉会式後の夕方、マネージャー全体でのミーティングを終えた後、最後のミーティングを2人きりで行いました。入部した時、色白で、私の目を見ることが出来ず、おどおどした感じだった彼女が、日に焼けて、笑顔で、自分がすべきことは最後までしっかりやりましたという自信に満ちた姿になっていました。高校野球が彼女を成長させてくれたのだと感じました。

◎◎大学を目指します。(大学名は公表しません)が次なる目標をしっかりと口にしてくれました。

市高野球部敗退から8日後、これで3年生部員全員が無事引退という形になりました。彼ら彼女らの進路に期待します。(前の代が2名東京大学に合格進学しているのでプレッシャーもあると思いますが)頑張ってくださいと思います(笑)。

大槻、本当にお疲れ様でした。

叡明高校(中村監督)おめでとう!

埼玉県の代表として、叡明高校が甲子園大会に出場することになりました。監督の中村先生は数少ない私と同じ年、市高近くの社会人チーム・日本通運の選手として活躍、その後、浦和学院高校のコーチを経て叡明高校の監督になったという経歴をお持ちです(私とは古い付き合いです)。

浦和学院高校のコーチ時代は本当に大変な生活を送っていたと聞いています。休日は年間で5日程度だった・・・とか。監督として自分で決めたその日数ならまだしも、コーチとして仕えての休日数ですから本当に大変だったことが想像できます。

叡明高校とは例年、新チームスタート時に練習試合をさせていただいています(今年も今月30日に組んでいましたが、キャンセルになりました。嬉しいキャンセルです)。約1年前、現チームの子達と練習試合をさせていただきましたが、その時、中村監督がこんな風に言っていたのを覚えています。

「前のチームで唯一試合に出ていた田口君が投手としても野手としても打者としても別格、ただ、彼を前面に押し出した戦いではなく、投手としては終盤に残しておく・・・みたいな戦いをしたい。他選手の成長次第・・・」

1年前に掲げていた理想のチーム状態で埼玉県を制しました。本当に素晴らしいと思います。

さて甲子園大会ですが、ズバリ投手次第だと思います。増淵君と田口君には県大会の疲労をしっかりと取り除き、万全の状態で開催で欲しいと思います(浦実のような活躍の可能性あり)。

練習試合なので何とも言えませんが、昨年の夏休みに戦い接戦だった浦和実業(7対7引分)、叡明(2対3敗退)が共に甲子園に出場しました。市高の可能性も0ではないと信じて、今後の活動を頑張りたいと思います(笑)。

叡明高校の皆さん、おめでとうございます。